



▲土地区画整理地内の道路が完成したスポーツ公園交差点前の通り

平成19年度一般会計決算特別委員会（委員長・池田利恵委員、副委員長・今井昭徳委員）は、9月16日、17日、18日の3日間にわたって開催し、正副委員長のもと、平成19年度一般会計決算について慎重な審査を行いました。

委員会では、予算執行に見合うだけの行政効果があつたか、会計経理上の過誤や不適切な支出がなかったか、財産の管理は適正に行われたかなどについて、延べ46人の委員が126件の質疑や行政への提言・指摘を行いました。

主な質疑は、次のとおりです。

- 市内郵便局で証明書を発行する経費はいくらか
- 手話通訳派遣事業における利用の範囲と利用時間について
- CO₂削減啓発バッチ作成の目的と使用方法について
- 食育推進事業について食の安全に対する市の考え方は
- 委員会最終日の18日、総括質疑の後、採決を行った結果、平成19年度一般会計決算は賛成多数で

一般会計決算

平成19年度一般会計決算特別委員会（委員長・馬場賢司委員、副委員長・奥野倫子委員）は、9月19日に開催し、正副委員長のもと、7つの特別会計決算について審査を行いました。

審査は、国民健康保険、土地区画整理事業、下水道事業、受託水道事業、老人保健、介護保険、市立病院事業の各会計順に

「認定すべきもの」と決しました。

定例会最終日の25日、本会議において池田利恵委員長が審査報告を行いました。また、5名の議員が一般会計決算への意見を述べ、今後の行政運営に反映するよう要請を行いました。

その後、採決が行われ、平成19年度一般会計決算は賛成多数により認定しました。

特別会計決算

平成19年度特別会計決算特別委員会（委員長・馬場賢司委員、副委員長・奥野倫子委員）は、9月19日に開催し、正副委員長のもと、7つの特別会計決算について審査を行いました。

審査は、国民健康保険、土地区画整理事業、下水道事業、受託水道事業、老人保健、介護保険、市立病院事業の各会計順に

「認定すべきもの」と決しました。

定例会最終日の25日、本会議における馬場賢司委員長の審査報告に対し、委員会の審査結果同様、国民健康保険特別会計及び土地区画整理事業特別会計は賛成多数で、他の5会計は全会一致で認定し、平成19年度の各特別会計決算は、すべて認定しました。

平成19年度

決算の審査から

今定例会初日、平成19年度決算についての議案が上程されました。これを受け、議会では一般会計、特別会計の両決算について2つの特別委員会を設置し、平成19年度予算が適正に執行されたか、財政運営は妥当であったかなどの審査を行いました。

一般会計の歳入決算額は、549億9千566万円で、前年度より1・6％の増、対する歳出決算額は537億7千878万円で前年度に比べ2・4％の増でした。歳入決算額が増となった要因は、市税のうち法人市民税が減となったものの、定率減税廃止等により個人市民税が増となり市税全体では増収となりました。一方、歳出では、民生費の児童手当等の扶助費や教育費の学校の施設整備経費の増などにより、全体で前年度を上回るものでした。

また、特別会計は、歳入総額が500億3千946万円で、前年度比3・4％の減であり、歳出総額は502億7千474万円で、前年度比3・0％の減となりました。

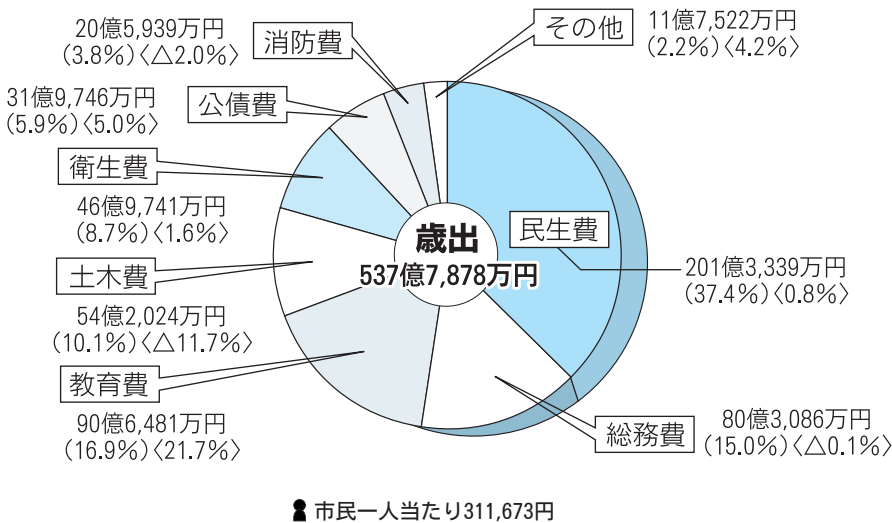
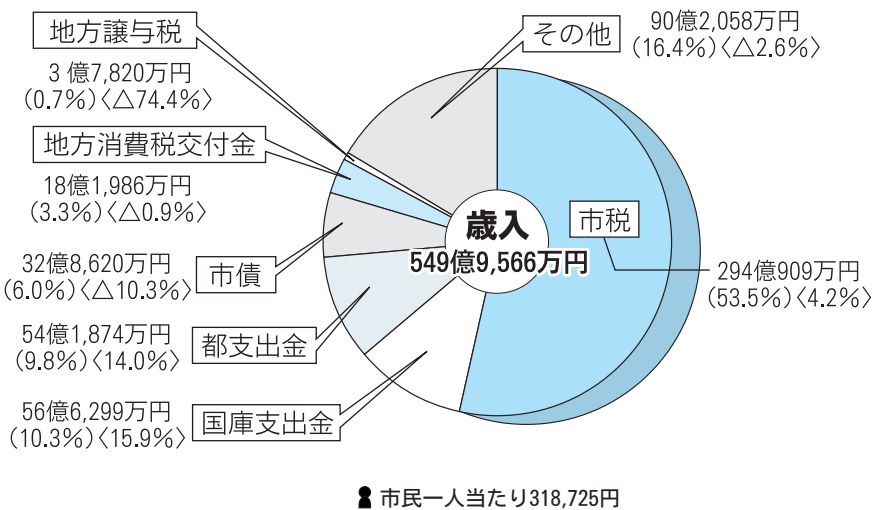
一般会計及び特別会計決算は、委員会での審査の後、本会議においても慎重に審議を行い、採決の結果、すべて認定しました。各会計の審査・審議状況は後段のとおりです。

平成19年度 主要な施策

①子育て支援サービスの充実	51億2,312万円	市内全小学校で放課後子どもプラン「ひのっち」を開始、安全で安心して過ごせる居場所が出来ました。また、保育園の改修や子育て・育ち不安ゼロを目指した施策を実施しました。
②「日野人げんき！プラン」と「食育」の推進による健康づくり	72億4,055万円	「さわやか健康体操」では参加者が延べ58,000人を越え、市民の運動することへの意識が高まり、「食から始まる健康づくり」では家庭・学校・地域でさまざまな施策を展開しました。
③学校校舎耐震化と教育環境の充実	59億5,017万円	5つの小中学校で校舎耐震化工事を実施し、全ての学校の校舎耐震化工事が終了し、平山小学校校舎改築工事も終了して、安全対策も万全となり最良の教育環境となりました。
④都市基盤整備の推進	51億9,543万円	主要な駅周辺の整備では、平山城址公園駅前に「平山季重ふれあい館」を開設し、浅川南部地域のコミュニティの拠点となりました。また、日野バイパス開通後の更なるまちづくりとして、豊田南地区、西平山地区で区画整理事業を推進しました。

会 計 別		平成19年度決算			
		歳 入	対前年度比	歳 出	対前年度比
一 般 会 計		549億9,566万円	1.6%	537億7,878万円	2.4%
特 別 会 計		500億3,946万円	△3.4%	502億7,474万円	△3.0%
内 訳	国民健康保険特別会計	150億2,225万円	7.8%	149億2,352万円	7.8%
	土地区画整理事業特別会計	38億7,977万円	△40.3%	37億 45万円	△39.8%
	下水道事業特別会計	54億8,389万円	△3.6%	54億7,902万円	△2.3%
	受託水道事業特別会計	9億1,471万円	△24.8%	9億1,471万円	△24.8%
	老人保健特別会計	100億5,705万円	△0.9%	100億2,100万円	△1.1%
	介護保険特別会計	83億2,851万円	5.3%	81億8,851万円	7.5%
	市立病院事業特別会計	63億5,328万円	△0.5%	70億4,753万円	△2.8%
	合 計	1,050億3,512万円	△0.8%	1,040億5,352万円	△0.2%

平成19年度 一般会計決算構成図



() 内は構成比、< > は対前年度比
(平成20年 3月31日現在人口；172,549人)